

「第16回日中建築住宅会議」開催後の視察参加報告

11月14日（月）に行われました「第16回日中建築住宅会議」を終え、中国側参加者13名は、11月15日（火）から17日（木）迄の3日間、東京、北九州、大阪において日本の建築・住宅の状況を視察いたしました。なお、3都市共に国土交通省からもご参加いただき、中国の方と一緒に視察をいただきました。

1. 中国側参加者（11月14日（月）開催の会議に同じ）

焦耀光	住宅都市農村建設部不動産監督管理司	副司長
段広平	住宅都市農村建設部住宅改革発展司	副司長
唐 涛	住宅都市農村建設部住宅保障司	主任科員
王筱敏	住宅都市農村建設部計画財務外事司	主任科員
何 琦	中国不動産協会	副秘書長
常書科	北京華融金暉不動産有限公司	副総経理
李 蚩	北京華融金暉不動産有限公司	副総工務師
鄧榮飛	中鉄不動産集団有限公司	副総経理
薛 峰	中国中建設計集団有限公司	総建築師
陳祖新	江蘇運杰不動産有限公司	理事長
王小鵬	中国不動産協会	副主任
趙路興	中国不動産研究会 住宅保障・公共住宅政策委員会	秘書長
束 健	朗詩集団株式会社製品センター	副総経理

2. 日程

11/15（火） 東京；（独）UR 都市機構技術研究所、パナソニックセンター東京

11/16（水） 北九州；TOTO（株）歴史資料館、小倉工場

11/17（木） 大阪；関西電力（株）本社ビル、大阪駅前再開発事業

3. 視察内容

1) UR 都市機構技術研究所においては、環境共生や耐震防災、住宅の居住性や日本の集合住宅の歴史について視察を行いました。また、大阪では関西電力の本社ビルを訪問し、空調システムやインテリジェント照明、堂島川・土佐堀川の河川を利用した地域冷暖房システムなどの省エネ・インテリジェントビルを視察しました。

2) 東京と北九州では、当協議会の会員企業の施設である、パナソニックグループ様と TOTO 様の施設を視察させていただきましたので、以下に報告します。

3) パナソニックセンターは、東京、大阪、北京の3カ所にあり、パナソニックグループの総合情報発信拠点です。グループ企業から、パナソニック、パナソニック電工、パナホームの皆様の出迎えを受けて、おうちまるごと「CO2±0の暮らし」を目指すエコアイデアハウスを見学し、太陽光発電、燃料電池、蓄電池による創エネ・蓄エネなどの最新技術を紹介いただきました。人数の関係上2班に分かれて見学をしたのですが、2班ともに説明をいただく案内の女性



が直接中国語で説明をいただき質問に対しても中国語で対応いただきました。



4) TOTO (株) 様では、午前中に歴史資料館を見学し午後から小倉工場を見学いたしました。



歴史資料館：

大正から昭和初期の衛生陶器や初代ウォッシュレットなど、実際に使用された器具が展示され、GHQ が収容した第一生命ビルで使用されていた製品なども展示されていました。また、TOTO (株) 様は 1970 年 (昭和 45 年) まで、食器や花瓶、灰皿等などを製造・販売していたとのことで、今では製造がされていけませんので非常に希少価値のある食器です。約 1,500 点展示されていました。



小倉工場：

現在生産されている最新の衛生陶器などのウォッシュレット最新商品などの紹介を受けた後、工場内の見学で、原材料から調製、成形、造形、乾燥、点検、施釉、焼成、そして最終検査までの全行程を詳細に説明いただきました。特に 24 時間かけて焼成する炉から製品が出てくるところでは、皆さん中を覗き込むようにして興味深く見学されました。

パナソニックグループ、TOTO (株) 様を始め、視察にご協力をいただきました企業の皆様、同行をいただきました国土交通省の皆様、及び関係機関の皆様、有難うございました。

報告の詳細は、会報誌「日中建協 NEWS」No. 195 号 12-1 月号を参照下さい。